

## 平成 16 年度情報処理軽井沢セミナー報告書

東京国立博物館 事業部情報課

山崎陽一

### 1. 課題

機関リポジトリの構築

### 2. 1 の概要

博物館所蔵の電子生産物（報告書、調査・研究資料及びデータ、所蔵品情報など学術的な情報）を蓄積・保存し、OAI-PMH による情報公開を目的としたリポジトリの構築する。

### 3. 演習とその成果 何を計画し、実装して、何ができたか。

#### (1) 演習第 1 日

演習課題を決定し演習計画を立て着手発表会への準備作業を行った。

#### (2) 演習第 2 日

課題としたリポジトリ構築のため、Dspace (Version1.2) のインストール作業を行ったが、インストール時に障害が発生したため、Dspace に関するソフトウェアの全てを再インストールしたが改善しないため、Dspace (Version1.1) のインストールへ変更した。障害は改善せず、第 2 日目は終日障害解明作業で終わった。

#### (3) 演習第 3 日

午前中は前日に引き続き Dspace (Version1.1) インストールを行った。(インストール時の障害原因は、PostgreSQL-7.4.6 の make 時に作成した jsp モジュールであることがわかり、インターネット上からダウンロードしてきた jsp モジュールに変更した結果、正常にインストールが完了した。ただし、なぜ make 時の jsp モジュールが障害を起こすかは不明である。)

午後より、Dspace にサンプルのコンテンツを登録し、正常にハーベスティングができるか確認 (図-1) 後、Dspace の機能及び運用・管理等の操作性 (図-2, 図-3) の調査を行った。

### 4. 研修で学んだ技術及び知識

学術ポータル概要、OAI-PMH を用いたハーベスティング技術、GETA による連想検索技術等

### 5. 事前準備として必要と思われるもの

事前に大まかな課題設定をし、演習に必要と考えられる OS 及び開発ツール等は準備した予定であったが、演習初日の課題の確定後、新たに必要となったアプリケーションをインストールすることになり、インストール作業がスムーズにいかずかなりの時間を費やすことになってしまった。結果から考えると事前に課題を絞込み、必要と思われるアプリケーション等も準備しておく必要があったと思われる。また、検証していないため断定はできないが、今回の演習で準備した OS 及び開発ツール等を全て最新バージョンで揃えたことがスムーズにインストールできなかった一因ではないかと考えられる。実績があり安定したバージョンで準備することが必要だったと思う。

#### 6. 今後の課題（職場で更に調査する必要があるもの等）

博物館の所蔵情報にもっとも適合したアプリケーションの調査（新規開発も含めて）

#### 7. 今後の計画（実際のポータル構築計画等）

- ・東京国立博物館リポジトリの構築
- ・博物館・美術館等の研究・調査資料等および所蔵品等の研究目的ポータルの構築

#### 8. 演習の感想

当初は、各自が自分自身で演習課題を設定するということが戸惑いもあったが、課題への取り組み方等を考える上で大変有意義であったと思う。課題への目的意識及び責任の所在が明確になり、主体的に取り組むことで講義の段階では漠然としか理解していなかった内容も自分なりに理解度が増したのではないかと考える。また、参加人数が少数ということで、他の参加者がどのような問題にどう取り組んでいるのかもわかり、今後の参考になったとことなどを考えると、とても充実した演習であったと思う。ただし、演習期間に後 2 日程度は欲しかった。

#### 9. 備考、その他

研修においてサポートいただいた羽田課長補佐、成澤さん、杉田さんはじめ NII の皆様、鈴木さん、丸川さん、日高さんはじめ講師の皆様及びアドバイス等を頂いた受講生の皆様、おかげさまで大変有意義な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

図-1 : リポジトリ情報の取得

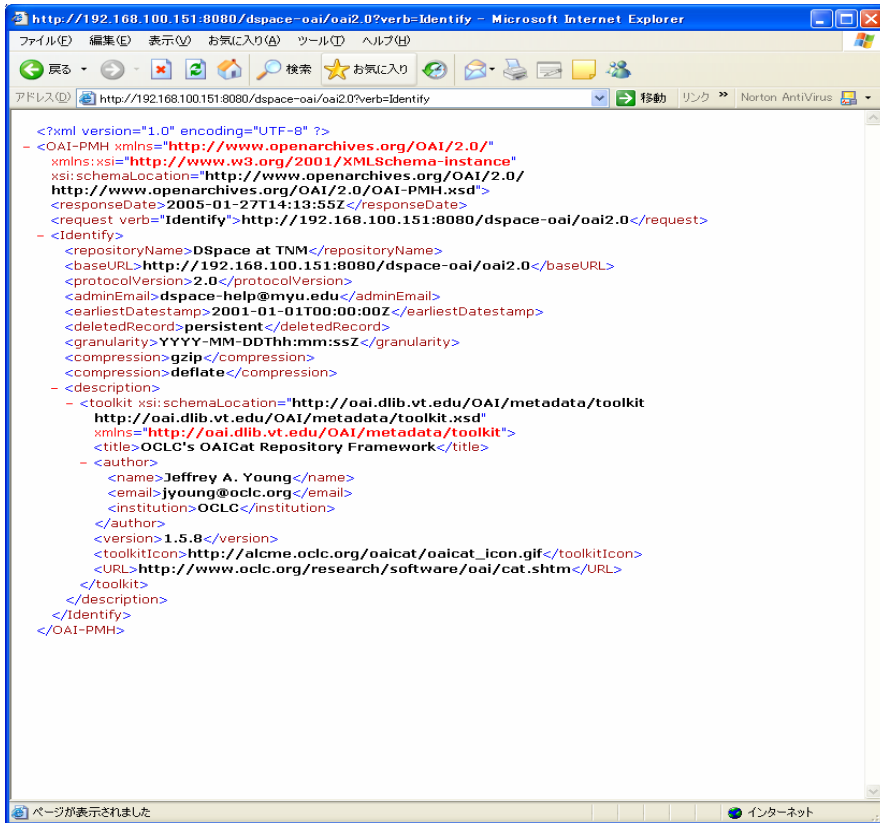


図-2 : DSpace のトップページ

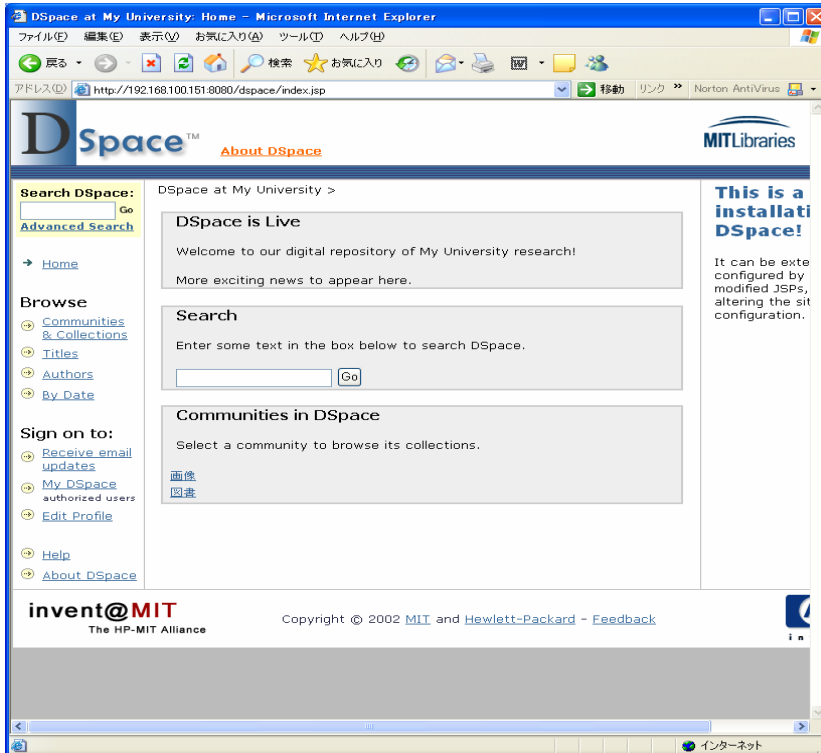


図-3 : 管理機能でのアクセス権設定

The screenshot shows the DSpace administration interface in Microsoft Internet Explorer. The browser title is "DSpace at My University: Edit collection policies - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows the URL: "http://192.168.100.151:8080/dspace/admin/authorize?collection\_id=3&submit\_collection\_se...".

The main content area displays "Policies for collection カラー写真 (ID=3)" with an "Add New" button. Below this is a table listing the policies:

ID	Action	Public	EPerson	Group	StartDate	EndDate
195	READ	...	...	Administrator	...	...
193	ADD	...	...	Administrator	...	...
194	WRITE	...	...	Administrator	...	...
192	DEFAULT_BITSTREAM_READ	...	...	Anonymous	...	...
191	DEFAULT_ITEM_READ	...	...	Anonymous	...	...
190	READ	...	...	Anonymous	...	...

The footer contains the "invent@MIT" logo, "The HP-MIT Alliance", and copyright information: "Copyright © 2002 MIT and Hewlett-Packard - Feedback".